



編 鈴木真年
纂

裁判議案

編初
三

5

13
保
924
3

和装本



裁判議案卷之三

鈴木真年

詐偽律

○詐偽官文書條

第二十五号 置賜縣伺

田畑家屋敷家財書入ノ証書ニ村町役人親屬ノ
加印ヲ自ラ偽印シ金子借用ノ者金負ヲ賍ニ積
リ詐偽取財ヲ以テ論スヘキ哉

指令

裁判議案 卷之三 田中代裁

7113
924
3

學校



借用ノ金額ハ証文通ニ民法ノ裁判ニ処シ偽印ノ廉刑法ノ裁判ニ処スヘキ事

第九号 新潟縣伺

隣里交友ノ名ヲ詐リ牙保ト為シ自己ノ印ヲ以テ偽押シ物品ヲ典賣シ或ハ財ヲ借者ハ改正條列詐偽律凡私ノ文書ヲ詐偽スル者ハ情ヲ量リ不應為ニ問ヒ輕重ヲ分ツトアルニ擬スヘキヤ但シ財ヲ得ル者ハ賍ニ計ヘ各盜罪ヲ以テ重ニ從テ可論乎

指令之三

私印ヲ偽造スル者ヲ以テ論シ財ヲ得ル者ハ賍ニ計ヘ各盜罪ヲ以テ重キニ從テ論ス

第四号 新潟縣へ指令

昨年七月十五日附ヲ以テ私印偽造ノ儀ニ付伺書司法省日誌六年後二十九号ニ載指令令般再議ノ次第有之伺ノ通ト改正ノ事

○偽造官印條

第三十二号 北條縣伺

凡官私ノ印ヲ盜ニ或ハ贋造スル者モ印影ヲ盜贋スルモ本印ヲ盜贋スルモ同様ニ相心得候哉

省臺寮司府縣ノ印ハ其廳ノ印ニテ譬ハ省中調
用スル其掛ノ印ヲ盜贋スル者ハ矢張省ノ印ト
見做シ候哉

指令

第一條官ノ印影ヲ盗ム者ハ官ノ文書ヲ盗ム律
ニ依リ私ノ印影ヲ盗ム者ハ凡盜ヲ以テ論ス若
シ行使シテ財ヲ得ル者ハ贓ニ計ヘ各盜罪ヲ以
テ重キニ從テ論ス偽造スル者ハ各官私ノ印ヲ
偽造スル本律ニ依ルヘシ
第二條餘ノ印ヲ以テ論ス

○偽造宝貨條

第二十一号 京都裁伺

甲州金及加賀判土佐判等ノ如キ其他各種ノ金
銀御改正新貨幣品位量図表ニ記載無キモノヲ
偽造シ又ハ賣捌キ質入等致ス者アリ右ノ類ハ
海内普ク通用ノ品ニ無之ニ付宝貨偽造ヲ以テ
論シ難カラシカ因テ金銀ノ器物ヲ偽造スルモ
ノト見做シ各其所得ノ姦利ヲ贓ニ計ヘ竊盜ニ
ニ準シテ論シ可然哉

同上正甲州金ト偽リ賣捌シトシテ得サルヨリ

偽金ノ旨申明シ又ハ潰金等トシテ抵價ニ賣捌クモノハ不應為輕ニ擬シ可然哉

指令

第一條伺ノ通

第二條伺ノ通但潰金等トシテ低價ニ賣却スル者情状ニ依テハ概シテ論ス可カラス口書ヲ以テ伺出ヘシ

犯姦律

○犯姦條

第二十一号 愛媛縣伺

未夕其家ニ入藉セスト虽モ内実人ノ妾トナルモノ姦罪ヲ犯ストキハ姦夫姦婦各懲役一百日ニ処スヘキ哉

指令

凡妾ト稱スルハ双方許諾ノ上初テ其名ヲ定ムルヲ得ル其定名アル者其姦罪ヲ犯セハ有夫ヲ以テ論ス

第九十三号 埼玉裁伺

本夫脱藉逃亡シテ復歸セサル尚二年内ニ在テ

其遺セシ妻及ヒ妾ヲ犯セハ有夫本罪ニ科シ若シ二年以外ニ至テ犯ス者ハ無夫ヲ以テ論シ不問ニ付シ可然哉

但其妻家女タリト虽モ罪ニ於テ仍ホ二十四ケ月内外ヲ以テ區別スヘキ哉

同上遺妻妾本夫逃亡後現ニ就縛中或ハ懲役限内ニ在テ犯ス者ハ其年月ノ多少ヲ問ハス有夫ヲ以テ論シ可然哉

指令

第一條遺妻ノ離婚ハ二十四ケ月ヲ過レハ聞届

クト虽モ其未タ離婚セサル間ノ姦罪ハ假令ニ十四ケ月外ト虽モ有夫姦ヲ以テ処断スヘシ但書本文ニ依テ知ルヘシ

第二條伺ノ通

第七十二号 奈良縣伺

爰二十一年十一月幼女ト和姦スル者發覺スル時太陰曆新律綱領ニ照依セハ十三歳トナル者ニテ無罪ニ候処改定律例ニ依リ満年ヲ計ル片ハ満十二年ニ至ラス候ニ付犯姦律十二歳以下ノ幼女ト奸スル者懲役十年ニ諛リ干支ヲ計

へ満年ヲ算スル差ヒニテ斯ク無罪重罪ノ懸隔ニ至リ候ニ付前頭及ヒ各律七十以上等ニ係ル分共干支以テ被論如何可有之候哉

指令

年ヲ算スルハ律例第百九十二條ニ照レ其生年本年ノ月数ヲ通算シ満年ヲ以テ本條ノ如キ十一年十一月ナレハ十二歳以下ノ幼女姦スル律ニ依ル七十等ノ年ヲ算スル右ニ同シ但シ犯ス時知ラスレテ損傷ノ害ナキ者ハ尋常和姦ニ從フヘシ

○親属相姦條

第二十一号 開拓使問合

犯姦律親属相姦スル條ニ養父養女ト相姦スルノ罪名ヲレト雖モ強姦ノ外死ニ入ノ律ナケレハ子孫ノ婦ヲ姦スル者ニ照レ仍ホ今般更正ノ律ニ依リ養父養女各徒三年申付候哉

指令

養父ハ前夫ノ女ヲ姦スル律ヲ以テ論スヘキノ処前條干名犯義ニ係ルヲ以テ其罪ヲ免レ養女ハ本罪ニ三等ヲ減シ懲役八十日干名犯義條ノ同使伺ヲ参考スヘシ

第九号 東京裁伺

第二百六十一條姪ノ妻ヲ姦スル懲役二年兄弟ノ女ヲ姦スル一年ト有之第八十一條ニ子ト称ス者ハ男女同シト有之現ニ姪ヲ姦スル者姪ノ妻ヲ姦スルヨリ罪輕ハ如何ノ權衡ニ有之候哉
指令
姪ノ妻ヲ姦スルト云へハ有夫姦ナリ兄弟ノ女ヲ姦スルト云へハ無夫姦ナリ故ニ懲役二年ト一年トノ輕重アリ

第六十二号 和歌山縣伺

妻ノ母ト姦スル者ハ互ニ五等親ニ係リ候者ニ付親屬相姦ヲ以テ論シ凡姦有夫ヨリ加等何程ノ刑名ニテ可然乎妻ノ母寡婦ノ後ト虽モ女婿ト姦スルハ破倫ニ付親屬姦ヲ以テ論スヘキ者ト存候処夫ノ有無ニ因リ刑名減等有之候哉即今犯科ノ者有之候ニ付擬律條例至急ニ伺

指令

夫ノ有無ヲ問ノス母ノ姉妹ヲ姦スル權衡ニ依リ科断スヘシ

○居喪犯姦條

律考 卷之三 日中裁

第四十九号 京都裁伺

改正居喪犯姦律ニ父母舅姑ノ喪ニ居リ姦ヲ犯ス者ハ凡姦ヲ以テ論シ夫ノ喪ニ居リ姦ノ犯ス者ハ有夫ヲ以テ論ストアル處改定律例犯姦條ニハ凡和姦夫アル者ハ各懲役一年トアリテ和姦ハ各杖七十ノ文ヲ没セラル、ニ付凡姦ノ正條無之所右犯姦ヲ以テ論ストハ何ニ依リ擬斷可致哉

指令

改定律例ニ於テ凡姦ヲ以テ論スルハ懲役一

年ニ処スルヲ云

雜犯律

○折毀掲榜場條

第六十五号 青森縣伺

士族ニシテ掲榜場ヲ折毀シ及ヒ板榜ヲ毀スル者ハ破廉耻ヲ以テ論シ本刑ニ処シ可申哉士族ナルヲ以テ閏刑ニ換へ禁錮三年可申付候哉

指令

破廉耻ヲ以テ論ス

○賭博條

第七十八号 司法省布達

賭博ヲ企テ未タ行ハサル者及ヒ博戯ノ為ニ骰子骨牌ヲ持スル者ハ情ヲ量リ違式輕重ニ問ヒ並ニ贖ヲ聽ス

第七十八号 岐阜縣伺

財物ヲ賭シ鷄ヲ闘シ候ノ儀骰子骨牌ヲ用ヒ博戯スルモノニハ不同候ニ付違式ヲ以テ処置可致欺ニ候ヘ凡元來飲食ノ賭モノニモ無之上ハ賭博律ニ擬シ處断可致哉云々

賭碁賭將基ノ類ハ賭博ヲ以テ論スヘク候哉

指令

兩條共伺ノ通

第六十六号 兵庫裁伺

賭房開帳者ハ其列ニ與ラスト虽モ同罪ノ律ニ候処右開帳者トハ所謂盆賃ト称シ其席料ヲ受ルト否トノ別可有之儀ト相考候ヘ凡律例中不相見其受者モ明許スレハ同罪ニ候哉

但シ歇家又ハ遊茶屋等ニテ來願ノ客竊ニ博戯スルヲ默許スルヲ家長及ヒ其家人婢僕等

知テ制セサルモ皆同罪ニ候哉左候テハ頗ル
苛酷ヲ覺候ヘ氏是亦如何哉

賭博ノ金財ハ没收スルノ例ニ候場中ノ物ト称
スルハ座上ニ出シ有之分トスルカ然レハ勝得
タル金錢モ懷中スレハ没セサルヘシ若シ其場
ニ齎シタル者トセンカ假令ハ一商ノ丁稚家長
ノ教令ニ因テ他ニ金財ヲ送ル途中其金ヲ懷中
ニ納メ置キ自己所有ノ金ニテ賭スル折柄捕獲
セラレタル片其懷中ノ金財モ没官スヘシ前説
ハ寛ニ過キ後説ハ酷ニ失シ何レモ情ニ適セサ

ルカ如シ右ノ分界如何

指令

第一條賭房ヲ開帳スルノ人ハ席料又ハ謝金等
ヲ受ルノ者ヲ謂フ但書ノ如キ旅店ノ主人來客
ハ博戯スルヲ知テ一時黙居スル者ハ止夕家長
ヲ呵責ニ処シ家人僕婢等ハ不問ニ置ク
但本文其不受者モ明許スレハ云々利ヲ図ルニ
非スレテ賭房ヲ開帳スル者ハ有ルヘカラス
第二條賭博場ノ財物トハ現ニ場中ニ出シ有ル
ノ者ヲ謂フ其懷中ニ在ルノ者ハ官没スルノ限

ニアラス

但懷中ニアルモノト雖モ勝得タル財物ニ係レハ官没スヘシ

○失火條

第二十七号 三瀨縣伺

雇人火ヲ失シテ主家ノ宅舎ヲ焼ク者如何処シ可然哉

指令

雇人火ヲ失シテ家長ノ宅舎ヲ焼ク者ハ自己ノ宅舎ヲ焼クヲ以テ論ス

但シ雇人別居ニ係ル者ハ自己ノ宅舎ヲ焼ク者ニ一等ヲ加フ

第三十号 印幡裁伺

僧侶火ヲ失シテ其寺ヲ焼ク者ハ自己ノ宅舎ヲ焼ク者ヲ以テ論スヘキヤ又ハ太政官第三百四十九号御布告ノ趣モ有之自己ノ所有物ニ非サレハ一等ヲ加ヘ可キ哉

指令

自己ノ宅舎ヲ焼ク者ニ一等ヲ加フ
等六十七号 筑摩縣伺

凡官私ヲ論セス一時或ハ平常其主ニアラスレテ空屋ヲ監守シ火ヲ失スル者ハ処分上如何相心得可然ヤ又ハ官私稅居人ニ雇ハレ其空屋ヲ監守シ火ヲ失スル者仍ホ稅居人ト見做シ処分可然哉

指令

官私ノ空屋トハ公廨倉庫及ヒ宅舍ノ類ニテ其主守或ハ主人他行等ノ節代守スル者カ果シテ然ラハ代守スル者公廨倉庫ハ本律ニ依リ宅舍ト係ルハ自己ノ宅舍ヲ燒クニ一等ヲ加フ其稅

居人ニ雇ハレテ火ヲ失スル者ハ例第二百七十

四條ニ依ルヘシ

第二十七号 京都裁伺

司法省日誌云々別居各居ノ雇人火ヲ失シテ家

長ヲ燒死ニ致ス者ハ改定律例第二百七十五條

ニ照シ各一等ヲ加ヘ処断可致ヤ將タ其燒死人

雇主ニ係ルヲ以テ同居別居各加等ノ區別モ有

之也

新律綱領僧尼於受業師條凡僧尼ノ受業師ニ於ル伯叔父姑ト同シトアルニ付其同居ノ子弟火

ヲ失シテ受業師ヲ焼死ニ致スハ二等親ノ尊長
ヲ焼死ニ致ス者ヲ以テ論シ且其内居ノ徒弟ヲ
焼死ニ致ス者ハ三等親ヲ焼死ニ致スヲ以テ論
シ処置可致哉云々

指令

第一條同居別居ノ分チナク改定律例第二百七
十五條ニ照シテ贖ヲ聽ス
第二條受業師ヲ焼死ニ致ス者ハ伺ノ通徒弟ヲ
焼死ニ致ス者ハ二等親ヲ焼死ニ致ス律ヲ以テ
論ス並ニ贖ヲ聽ス

○費用受寄財産條

第六十九号 千葉裁伺

雜犯律費用受寄財産條並ニ物追シ主ニ還スト
アリ依テ本犯貧窶ニシテ一時ニ追徴スルヲ
得サレハ民法裁判上身代限ノ法ヲ以テ追徴シ
仍ホ不足アレハ財主ニ其旨ヲ達シ追々ニ追還
セシメ可然哉

指令

本文ハ如キハ時服食料炊具等の用ノ品ヲ除キ
資力ノ限ヲ追徴スルニ止ム

第五十一号 滋賀縣伺

典鋪期ニ至ラスレテ典物ヲ輒ク費用スルハ費
受寄財産條ニ依リ可然也

指令

不應為輕ニ問ヒ典物費用シテ現在セサレハ其
典物估計レ先キニ典賣得ル処ノ金數ヲ扣除シ
剩ル金數ヲ典賣主ニ追給スヘシ

○得遺失物條

第三十八号 開拓使問合

得遺失物若シ官ニ告スレテ遣ヒ拂ヒ候後發露追

徵スト虫モ無産或ハ困究ニシテ追徵スヘキモ
ノ之レナキ片ハ如何

指令

得遺失物官ニ告ス遣拂云々御問合ノ趣致承知
候右ハ新律綱領條ニ依リ処断可有之尤モ困究
ニシテ資力ナキ者ハ追徵ニ及ハス云々

第五十五号 熊谷裁伺

道路於テ遺失ノ金銀及ヒ活動物ヲ得落主ハ某
タルヲ知テ還與セス輒ク轉賣又ハ費用スト虫
モ遺失物ヲ得ル例ニ依リ坐賍ヲ以テ論シ可然

哉

同断遺失物ヲ得落主之レヲ偵知シ取還セシ
ヲ乞フ拾主給テ実ヲ告ケス又余事ニ托シテ肯
ンセス依テ事主官へ訴フ審糾スルニ果シテ其
実ヲ吐ク如斯者ハ竊盜ニ準スヘキ哉又原ト盜
心ナキヲ以テ矢張遺失物ヲ得ル例ニ依リ処断
スヘキヤ

指令

第一條伺ノ通但私物ハ一等ヲ減ス

第二條欺テ実ヲ告ケス自己ノ所有ト為サント

欲スル者ハ伺ノ通竊盜ニ準レテ論ス余事ニ托
シテ肯ンセス云々余事トハ何ヲ云フカ明瞭ナ
ラス詳細ニ伺フヘシ申出知ハ

第三十八号 警保寮伺

遺失物ヲ拾取訴出候内食物ノ類御定メノ揭示
日限中腐敗可致物品ハ直チニ拾人へ給與致シ
候カ即時拾ヒ人へ給候共代價見積リヲ以テ取
極メ置他日遺失主申出候節其價ノ一半ヲ還付
為致候カ兩條ノ内何レニモ決定致置度右ハ邏
卒番人へハ關係ノ事ニ付見込承知致度旨東京

府ヨリ問合越候処如何決答致レ可然乎

指令

本文伺出ノ物品ハ直ニ拾ヒ人へ給與可致候尤
後日遺失申出候共其價ハ一半ヲ還付為致候ニ
不及候事

第九十一号 東京府伺

府下人民拾ヒ品訴出候内文字金保字金其他古
金類有之候節遺失人申出候ハ、規則ノ通折半
授與取計可申候へ共揭示満期ニ至リ事主申出
無之候節ハ現品ヲ以テ拾ヒ人へ給與可致哉古

金類ノ儀ニ付テハ去辰年中換金規則御布令ノ
趣モ有之候ニ付右規則ニ照レ換金ニテ下ケ渡
候方可然哉内務大藏両省へモ相同候処御省へ
可伺出旨云々

指令

現品ヲ以テ拾主へ給與スヘシ
但引替ノ儀辰年規則ハ通可申諭事

第九十八号 愛知縣伺

當縣下一ノ富豪ノ商人材木ヲ信州ニ購ヒ之ヲ
木曾川ノ急流ニ投シ云々從來ノ慣習ニ依リ相

當ノ留木賃ヲ授與為致材木ハ木主へ返シ其竊取スル者ニ至テハ律ニ依リ処断致シ可然哉

指令

変ニ因テ流失スルヲ拾ヒ得ルハ伺ノ通

但シ竊取スル者ハ盗田野穀麥律ニ擬断スヘシ

第百号 秋田縣伺

甲某路上ニ物品ヲ遺失シ心裏忽チ之ヲ覺リ即顧躬スレハ物已ニ乙某ノ得ル所トナル依テ還付セシトテ請フニ聴カス遂ニ之ヲ官ニ送ル者ハ折半法ヲ用ヒス得ル者ニ適宜ノ謝礼ヲナサ

レノ可然哉

指令

本文ノ如キハ遺失物ト情状異ナルニ依リ全ク失主ニ給付シ適宜謝礼ヲナサシムルニ及ハス

○違令違式條

第二十七号 名東縣伺

此ニ無鑑ノ獵人アリ其犯ス所ハ本年三月上旬ノ事ニシテ則三月十八日百十号ノ改正獸獵取締規則未夕御布達無之以前ニ係ル故ニ一月二十五号ヲ以テ御達アリシ規則ニ照準可然哉又

事ノ發覺スル四月ニ在レハ固ヨリ改正規則ニ依リ処断可致トモ相考候処若シ是ニ擬トキハ改正規則第二十一條免許ヲ得スレテ銃獵スル者ハ五圓ヨリ不少二十圓ヨリ不多罰金ヲ出サシム云々有之五圓二十圓ノ間十五圓ノ違ヒアリ犯情ノ輕重ニ依リ加減有之哉然ハ則其細目如何區別可仕哉

鳥威シノ為メ一時無鑑札ヲ以テ空發スル者モ同断規則ニ照シ罰金可申付哉

右ノ者若シ無力ニシテ他ニ親戚等無之罰金出

来カタクキ者ハ如何処置可仕哉

第一條伺在通

第二條同号大阪裁ハ指令範圍云々同断ニ付略之

第三條違式律ニ照シ処断スヘシ休替内題ハ第四條無力ノ者ハ身代限取上ヘシ但シ身代限

申付ル上取上ヘキ物品無之候ハ其俵放免スヘシ且罰金ニ限リ尔後其者身代持直シ候トモ

再度取立ルニ不及事

第三十号 印幡裁伺

違式ノ罪ヲ犯ス者ハ例ニ依リ答二十一十呵責ニ処シ来候処中ニハ其罪答一十二テハ重ク又呵責ニテハ輕キニ過候者間々有之依テ先般被仰出候違式註違條例ノ儀ハ東京府管内限り施行セラレ候儀ニ可有之候ヘ氏前條ノ如キ犯罪者ハ右違式註違條例ニ照準シ其情ヲ酌量シテ六錢二厘五毛ヨリ少カラス十二錢五厘ヨリ不多ル贖金ニ科シ候様仕度云々伺

指令

伺ノ通

第二十五号 滋賀縣伺

今茲ニ甲乙丙丁ノ四人アリ兼テ御布告ノ旨ニ違ヒ傳潔流行病斃牛ヲ甲ヨリ乙ノ牙保ヲ以テ窃ニ丙ニ代金四圓ニ賣渡シ乙へ金二十五錢世詰料トレテ甲ヨリ差遣シ丙買取所ノ牛肉骨ハ肥ニシ皮ハ又丁ニ斃牛タルノ情ヲ押隠シ代金一圓五十錢ニ賣渡シ其皮ハ丁ノ処ニ現在ス右甲丙ハ違令ノ輕ニ擬シ乙ハ従トナシテ一等ヲ減シ丁ハ情ヲ知ラサルヲ以テ無罪ト論シ可然

哉而シテ其皮ハ犯禁ノ物タルヲ以テ丁ヨリ直
ニ追徴官ニ没シ甲乙丙ノ得ル所ノ金モ亦應禁
ノ物ヲ販賣シ得ル者ナレハ各官没シ更ニ丙ヨ
リ丁ニ牛皮代價ヲ償ハシメ可然哉
但己ニ費用スレハ追徴スルニ不及哉

指令

甲ヨリ販賣代金四圓及ヒ乙ヨリ世話料二十五
錢ヲ追シ一圓五十錢ヲ丁ニ給シ剩金ト皮ヲ官
没シ情ヲ知テ轉賣牙保ヲナセシ者ハ違ノ輕重
ニ問ヒ贖ヲ聽ス

但書伺ノ通

第二十五号 滋賀縣伺

今茲ニ民費ヲ以テ官道ノ橋ヲ作り往来ノ旅人
ヨリ橋錢ヲ申受度旨願出ルニ付聞届置橋錢取
立ノ儀ハ何程ト申義見込書可差出旨相違置候
処等閑ニ打捨置ノミナラス橋未タ造營ナラサ
ルニ往来ノ者ヨリ合カト称シ錢ヲ取立落成ノ
後モ右見込書差出サス竊ニ往来ノ旅人ヨリ橋
錢取立ル者アリ右ハ違式重ヲ以テ論シ聽贖シ
其取立ル所ノ錢ハ官ニ没シ可然乎

但己ニ費用スレハ追徴スルニ不及ヤ

指令

伺ノ通

第三十八号 白川縣伺

社寺境内ノ樹木ハ假令其社寺修繕ニ相用ト候者共猥ニ伐木不相成旨去年七月第二百三十五号御布告ノ通ニテ神官僧侶ノ社寺ニ於ル仍ホ管守者ト見做シ可然乎左スレハ若シ社寺境内ノ樹木無願ニテ伐木スル片ハ賍ニ計ヘ監守盜ヲ以テ論シ可然乎神官僧侶其一身ニ属スル品

ノ外假令ハ社寺ノ什物ヲ私事ニ費用シ或ハ賣拂等致ストキハ亦本行ト同監守盜ヲ以テ論スヘキ乎

指令

神官僧侶擅ニ社寺境内ノ樹木ヲ伐リ社寺營繕ノ用ニ充レハ違令ニ問フ自己ハ費用ニ充ル者ハ賍ニ計ヘ窃盜ニ準シテ論ス寄附什物ヲ擅ニ費用スルハ費用受寄財産律ニ依テ処分スヘシ

第九十五号 新治裁伺

伺書略之

指令

等外吏及正副戸長一已ニ係ル金銀貸借等ノ証
文類ニ職名ヲ記スル者ハ今後不相成旨ヲ以テ
申聞ケ呵責スヘシ

捕亡律

○追捕罪人條

第九号 警保寮伺

諸省雇入外國人邸内并ニ外國人居留地等ニ於
テ擅ニ烟火等相催候ヲ邏卒番人ニテ見當穩ニ

制止候共不聞入節ハ如何取計可然哉

指令

本文外國人ノ姓名等ヲ詳細承糾尚其場ニ於テ
御國人ノ証人ヲ相設ケ置當省へ届出候様可取
計候事

第一号 京都裁伺

賭博遂ケ得サル者ヲ區戸長ヨリ一應聞糾シ官
廳へ伺濟ノ旨申成シ私ニ解放スル者違式輕ニ
依リ私罪贖例ニ照シテ聽贖シ右ニ付酒食ノ饗
及ヒ餽送等ヲ受ルニ係ラハ枉法ヲ以テ論スヘ

キ乎

指令

追捕罪人條ノ後項及ヒ改定律例第二百九十二條ニ依テ処分スヘシ

第五十五号 新潟縣伺

捕吏盜犯ノ蹤跡ヲ確知シ犯人ニ説諭シテ竊ニ盜贓ヲ事主投還シテ逃亡セシメ財ヲ受ケス犯人未タ獲ス事將ニ發露セントスルヲ懼テ出首スル者ハ首免ヲ聽スヘキヤ

指令

首免ヲ與ヘス律ニ依テ科断スヘシ

○罪人拒捕條

第八十三号 千葉裁伺

茲ニ賭博ヲ為ス者十人アリ捕吏僅ニ二名ニシテ其場ニ臨ミ先ツ甲乙二人ヲ捕セント已ニ手ヲ下スニ其虚隙ヲ窺ヒ逃走スルハ拒捕律ニ依テ処置スヘキハ勿論ニ候得共其餘八人ハ捕吏未タ手ヲ下スニ暇ナク捕縛スル場合ニ至ラザルトモ已ニ捕吏知リタル上ハ即チ伏罪シテ縛ニ就クヘキニ付右八人其場逃走スレハ矢張前

同律ニ依リ本罪ニ二等ヲ加ヘ可キ哉

指令

捕吏罪犯ヲ追捕スルニ罪犯逃走スル耳ニテ抗拒セサルハ加等ハ限ニアラス

○獄囚脱監及反獄逃走條

第三十号 京都裁伺

第二百九十七條元犯人責付内ニ逃走スル者本罪ニ一等ヲ加フ云々有之候処若シ責付内ニ潜出シテ罪ヲ犯シ發覺セハ仍ホ本罪ニ一等ヲ加ヘ可然哉

指令

二罪俱發ヲ以テ論シ本罪ニ一等ヲ加フ

第四十一号 福岡縣伺

士族閨刑ヲ犯シ吟味中監倉入或ハ親屬ニ責付スルモノ脱監逃走シ再ヒ捕縛スル片ハ如何処置可仕哉

指令

本罪上ニ二等ヲ加フ

第九十七号 京都裁伺

本年第八号御布達処刑濟云々逃走スル者捧鎖

一日鞫問中逃走シ遂ニ無罪トナル者亦同シト
アルハ一時犯罪ノ見込ニテ禁收ノ者鞫問中看
守人ノ懈怠ヲ窺ヒ逃走スル者ノ処断方ニテ其
懸リ合等ニテ責付中逃走シ遂ニ無罪トナル者
ハ曾テ懲役一十日贖ヲ聽スト御指令之レアリ
候ニ付右指令ノ通相心得可然哉
士族ニシテ前條同断禁收ノ者及ヒ責付中逃走
シ並ニ無罪トナル者如何

指令

第一鞫問中トハ禁收責付ヲ論セス吟味中ノ者

ヲ云フ

第二華士族鞫問中逃走シ遂ニ無罪トナル者違
式輕ニ問ヒ懲役一十日閏刑ニ処ス

第七十五号 筑摩縣伺

第二百九十七條ニ云犯人責付内ニ逃去スル者
ハ本罪ニ一等ヲ加フ云々其自首スル者ハ止タ
本罪ヲ科シ逃罪ヲ免スト右ハ犯人巳ノ罪ヲ避
ケシヲ欲シテ逃亡スル者ニ有之自ラ本籍ヲ
逃亡スル者トハ異ノリト虫モ若シ二年以外ニ
テ復歸シ及ヒ自首スル者ハ第百十八條ニ依リ

二罪俱發ノ例ニ照シ重キニ從ヒ其罪ヲ問ヒ可
然哉

指令

伺ノ通

○懲役人逃條

第十四号 東京裁伺

六年十二月九日元岩井町ヨリ出火ノ節囚獄病
牢へ飛火ニ付解放致シ候囚徒ノ内二十四時間
内投歸ノ者ハ律ニ依リ本罪斬絞以下一等ヲ減
シ右時間ニ後レ追テ自首スル者ハ止夕本罪ヲ

ヲ料シ逃罪ヲ免シ可申哉

同断解放ノ囚徒構門内外迄罷出鎮火ニ付被差
留歸牢ノ者

同断人負ノ内重病ニテ復ニ為兼立退方手當受
候者

同断重病ノ者ニ付添罷在候者

右三條ノ者共ハ現實其場ヲ放レサル者ト至モ
己ニ解放ノ命ヲ受ケ紛擾ノ際神妙ニ致シ罷在
候者則解放ノ上投歸ノ者ト見做シ減等致シ可
然カ又ハ囚獄構内外ヲ放レサル者本罪減等セ

サル儀ト相心得可申哉

前文伺ハ未決ノ者ニシテ已決ノ原準流人等ハ
假令二十四時間内ニ投歸スト虽モ改正律第三
百六條ニ照シ本罪減等セサル儀ト相心得可申
哉

指令

第一條伺ノ通

第二三條減等ノ限ニアラス

第四條投歸ノ者ト同シク減等

第五條伺ノ通

第三十号 京都裁伺

第二百九十九條凡懲役百日以下ノ囚人限内逃
走スル者捧鎖一日云々ト有之候処無産ノ者生
業ノ為メ等ニテ懲役場ニ役使スル者逃走シ外
ニ有テ罪ヲ犯サハ懲役人逃ニ準シ捧鎖一日ノ
上仍ホ犯ス所ノ罪ヲ科スヘキヤ將夕其初無罪
ノ者ニ係ルヲ以テ脱藉等ト一般ニ看做シ二罪
俱發ノ例ヲ以テ重キニ從テ処断可致哉
附無罪ノ者預中逃走スルハ笞一十ト御指令
相見候処逃走ノ後罪ヲ犯サハ一等ヲ加フカ

又ハ逃罪ト二罪トシテ重キニ從ヒ科スヘキ
乎

第三百七條凡禁錮限内潜出シテ他ニ投宿シ及
ヒ縱飲スル等ニ係レハ懲役七十日贖罪スル事
ヲ聽シ仍ホ新ニ原限ヲ科スト之アリ候処若シ
投宿縱飲ノ者別ニ賭博等ノ私罪ヲ犯サハ右七
十日聽贖ノ上私罪ノ日數ヲ原限ニ加フヘキヤ
將夕二罪俱ノ例ニ從フヘキヤ

指令

第一條無産ノ者生業又ハ教戒等ノ為メ懲役場

ニ役使スル者逃走シ外ニ在テ罪ヲ犯ス者ハ棒
鎖一日仍ホ犯ス処ノ罪ヲ科ス

第二條懲役七十日聽贖ノ上賭博ノ罪禁錮八十
日ヲ原限ニ加フヘシ

第三十三号 滋賀縣伺

懲役逃條ニハ捕限ヲ給シ限内捕得シ若クハ囚
已ニ死シ及ヒ自首スル等ニ付主守ノ罪減等ノ
儀無之候哉

指令

改定律例第三百九條ニ依リ科断スヘシ

○主守不覺失囚條

第九号 東京裁判

第三百十條ハ主守不覺失囚律ト同ク自ラ捕獲
シ及ヒ自首スル等ハ仍ホ一等ヲ被減候儀ニ有
之候哉

指令

自捕獲スレハ改定律例第三百九條ノ通二等ヲ
減シ他人捕得シ若クハ囚己ニ死シ及ヒ自首ス
レハ各一等ヲ減ス

第十一号 三重縣伺

犯罪処刑濟宿村送ヲ以テ元籍府縣へ引渡ノ者
逃走スルヲ覺ラサル途中差添ノ者

右途中差添ノ者ノ隙ヲ伺ヒ逃走スル者

第十号 指令

第一條護送ノ者ハ違式輕ニ依リ懲役十日贖罪
ヲ聽ス

第二條逃走スル者ハ不應為輕ニ依リ懲役三十
日ニ処スヘシ

第四十六号 静岡縣伺

主守不覺失囚條例第三百九條ニ凡守囚ノ逃走

云々トアリ右ハ主守失囚ノ者自得スルヲ以テ
二等ヲ減シ候哉又ハ限内ナレハ自他ヲ論セス
二等ヲ減シ候哉

指令

限内捕得スレハ自他ヲ論セス二等ヲ減シテ処
分スヘシ

第七十九号 滋賀縣伺

主守不觉失囚條若未タ断决セサルノ間トハ捕
限三十日ヲ過ルト虽モ主守ノ罪未タ断决セサ
ル内能ク捕獲スル者ヲ申儀ト可心得哉

捕限三十日内他人捕得シ若クハ囚己ニ死シ及
ヒ自首スルキハ改定律例第三百九條ニ仍リ主
守ノ本罪二等ヲ減シ可然哉

指令

第一條未タ断决セサルノ間トハ故縦スル守主
ノ罪未タ断セサル内ナリ

第二條伺ノ通

○陵虐罪囚條

第二十三号 宮城縣伺
罪囚ヲ柵欄ノ下ヘ立シノ糾問中数時間繫縛イ

夕ニ置禁錮疲勞ノ上尚疾苦セシメ候ヨリ健康
ヲ害シ他日懲罰ノ上良心ニ復ルモ産業ヲ營ム
能ハサル様立至リ候テハ愍然ノ至ニ付宿悍老
賊拷問等ニ及フ者ノ外糾問中縛ヲ解キ両手ヲ
緩ノ置可然カ

指令

伺ノ通

断獄律
○與囚金又條

第四十四号 筑摩縣伺

監内未決已決囚人共自費ヲ以テ蚊帳相用度旨
願出候節ハ勿論聞届不苦候哉トハ存候ハモ監
獄則掲載無之儀ニ付為念相伺候時節柄ノ儀云
云

指令

未決囚人其親族ヨリ蚊帳差入度願出候節ハ篤
ト檢査ノ上差入候儀不苦候事
但罪囚ノ摸樣ニヨリ酌量可致儀ニ付前後能ク
注意可有之候事

○老幼不拷訊條

第八十三号 兵庫裁伺

新律綱領老幼不拷訊條中ニ違フ者ハ故失入人
罪律ニ依ルト有之右違フトハ上文拷訊スヘカ
ラスト云フ禁令ノ辞ヲ受ケシナルヘシ總テ人
罪ヲ入ル、トハ本罪懲役一十日二十日ニ処シ
一年ヲ二年ニ処スル等ニテ日数年ニ因リ計算
兼除明了ニ候処其拷訊ヲ加ヘタル者ヲ失入人
罪ノ律ニ因ルト其計算ノ法實地上如何

指令

老幼廢疾者云々違フ者ハ故失入人罪律ニ依ル
トハ拷訊レテ罪ニ故失入アルキヲ云フ若シ故
失入ナキモ律ニ違ヒ拷訊スル者ハ情ヲ量リ違
制輕重ニ問フ

○出入人罪條

第八十三号 濱田縣伺

笞杖ヲ行フノ人誤テ十杖又ハ四五杖ヲ増加ス
ル者ハ其増加スル処ノ數ヲ以テ本罪トナシ幾
等ヲ減シテ科シ贖ヲ聽スヘキ乎
右ノ檢使同断

同上誤テ十杖又ハ四五杖ヲ欠テ放免スル者同断

右ノ檢使同断

懲役囚ノ期限已ニ滿テ放免スルニ當リ誤テ日ヲ繰違ヘ十日或ハ四五日ヲ延期スル者ハ其延期スル処ノ日數ヲ以テ本罪トナシ幾等ヲ減シテ科シ贖ヲ聽スヘキ哉

同上誤テ十日或ハ四五日ヲ欠テ放免スル者同断

指令

總テ失出入人罪律ニ依ル

但シ檢使モ笞杖ヲ行フ者ト罪亦同シ

○婦人犯罪條

第九十六号 新治裁伺

婦人姦罪ヲ犯シ産後不日ニシテ發覺スレハ親屬鄰佑ニ責付シ一百日ヲ待テ禁獄シ推問ニ及ヒ可申哉若シ一百日ヲ待ツ儀ニ候ハ、一百日以内ニ捕フ者ノ律及ヒ違フテ禁獄シ或ハ由是囚婦死ニ至ル者ノ律如何

指令

裁判書 卷之三
百廿三
田中
亦

婦人姦罪産後ニ突覚シ禁獄シテ推問スヘキ者
ハ醫ヲシテ診察セシメ其可否ヲ得テ処置スヘ
シ必シモ日数ニ拘ラス若シ擅ニ禁獄シ因テ死
ニ致ス者アラハ口書ヲ以テ伺出ヘシ

○死囚奏請待報條

第百号 秋田縣伺

懲役終身以下ヲ禁刑ノ日ニ於テ処断スル者死
囚奏請待報條ノ後項ニ比准セハ事頗ル苛酷ナ
ルヲ覚ユ依テ違式輕ニ擬シ如何

指令

伺ノ通

○断罪不當條

第七号 京都裁伺

断罪不當條凡罪ヲ断シテ決配スヘキヲ故ラニ
收贖シ收贖スヘキヲ決配スルモノ故出入人罪
律ニ依テ一等ヲ減ス云々ト之アリ候処二罪俱
發以重論條例中ニ若シ贖罪実断ヨリ重キ者ハ
重キニ從ヒ贖罪ニ処ストアルニ付懲役五十日
実断スヘキヲ誤テ七圓五十錢ノ贖日ノ贖罪ニ處
スレハ失入トシ七圓五十錢贖罪スヘキヲ懲役

裁判書 卷之三
百廿四
田中
亦

五十日ニ実断スレハ失出トシテ失出入人律ニ依リ一等ヲ減シ可然哉

指令

伺ノ通

第五十八号 司法裁伺

凡罪囚口供已ニ甘結シ拇印ヲ押スレハ刑名申渡シ前ニ病斃スト虽モ獄已ニ成ルト同ク破廉耻ニ係ル華士族ハ禄ヲ收メ候儀ニ可有之哉即千別紙相添至急相伺候也

指令

伺ノ通

裁判議案卷之三終

裁判議案卷之三

百十五 日中弑威



鈴木眞年編纂

裁判議案

編初
三冊

明治八年三月上許